

コンサルタント等契約(業務実施単独型)(2021年3月31日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。**新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。**

注2) プレ公示に関するお問合せは、公平性を期するため受付けておりませんことご了承願います。公示後に質問を一定期間お受けし、回答を弊機構Webサイトに掲載いたします。

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) 2020年4月から「コンサルタント等契約」の制度が変わりました。

今後も新しい情報の公開と共に変更が生じる可能性がありますので、JICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認下さい。(https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html)

★	調達管理番号	20a01212000000	調達件名	ラオス国病院の保健医療サービスの質および財務管理改善プロジェクト詳細計画策定調査(評価分析)		
公示日(予定)	2021年4月7日	担当部課	人間開発部保健第二グループ	業務種別	業務実施契約(単独型) - 調査団参团	
履行期間(予定)	2021年6月7日	~	2021年8月13日	選定方法	企画競争	
業 務 内 容	<p>【背景】： ラオス保健省は医療の質改善のための病院認証制度の構築に他ドナーと共に取り組んでおり、2021年に病院認証制度の各項目が決定される見込みである。 我が国は、2016年より技術プロジェクト「保健医療サービスの質改善プロジェクト」を通じて、ラオス南部4県を対象に、保健医療サービスの質改善モデルの導入と病院サービスの質の改善を展開してきた。同モデルは県病院において具体的な成果を上げたが、郡病院への展開は拡大の余地を残しており、上述の病院認証制度との位置付けや病院認証制度下における同モデルの運用方針について整理する必要がある。 また、ラオスでは病院の財務管理能力の低さや制度の理解不足が継続的な医療サービス提供のボトルネックになっており、保健分野における財務管理の整備が求められている。 前述の課題を解決するため、同モデルの展開によって保健医療サービスの質を担保するとともに、病院の財務管理の能力強化を行うプロジェクトの要請がラオス保健省よりされた。前述の課題分析の上、本調査にてプロジェクトデザインの策定を行う必要がある。</p>			留 意 事 項	<p>【目的】：プロジェクトの当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目を確認することを目的とする。 【活動内容】：(1)文献のレビュー、ラオス保健省、他ドナー、ラオス南部の病院や保健局へのインタビュー調査等を行う。(2)調査結果をもとに、プロジェクトの構成を整理する。 【業務担当分野】：評価分析 【人月合計】：1MM(現地0.5MM、国内0.5MM) 【現地業務期間】：2021年6月中旬~6下旬を予定。 【渡航回数】：1回 【留意事項】： 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、渡航予定時期に渡航することが困難な場合は、遠隔による調査の実施を検討する。</p> <p><有償以外></p>	

コンサルタント等契約(業務実施単独型)(2021年3月31日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、公平性を期するため受付けておりませんことご了承願います。公示後に質問を一定期間お受けし、回答を弊機構Webサイトに掲載いたします。

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) 2020年4月から「コンサルタント等契約」の制度が変わりました。

今後も新しい情報の公開と共に変更が生じる可能性がありますので、JICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認下さい。(https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html)

★	調達管理番号	21a00060000000	調達件名	ベトナム国サイバーセキュリティに関する能力向上プロジェクト (ISAC設立支援アドバイザー業務)		
公示日(予定)		2021年4月7日	担当部課	ガバナンス・平和構築部STI・DX室	業務種別	業務実施契約(単独型)ー専門家業務
履行期間(予定)		2021年6月1日 ~ 2022年1月31日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 ベトナムでは11ある重要情報インフラのセキュリティ対策の責任はライン省庁にあるが、対策は進んでいない。そのような状況において、情報通信省情報セキュリティ局 (Authority of Information Security、以下「AIS」) は各省庁を中心としたそれぞれのセクターにおける国営企業と任意参加の民間企業をつなぐ情報共有体制 (Information Sharing and Analysis Center。以下「ISAC」) を構築することを計画している。優先度の高いセクターを最初のISACの分野として選ぶとのことであるが、特に急務と考えているのは情報通信セクターと金融セクターである。将来的には、国内のセクター別ISACだけではなく、ASEAN地域における国際的な情報共有体制の構築を目指しており、我が国への支援が要請されている。</p> <p>【目的】 本業務従事者の指導と助言により、AISが求めているISACの要件が明確になり、特定のセクターについてのISACを設立する準備が完了すること。</p> <p>【活動内容】 1、ベトナムにおけるISAC設立に関する現状・課題の把握 2、ISAC設立準備のためのワークショップの調整・準備 3、ISACの目的と組織案・活動案の決定、設立計画作成支援 4、ISAC設立のためのワーキンググループ運営状況モニタリング、指導等</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野】 ISAC設立支援アドバイザー</p> <p>【人月合計】 2.08MM (現地1.33MM、国内0.75MM)</p> <p>【渡航回数】 4回各10日程度</p> <p>【留意事項】 プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。本調達予定案件は、契約予定時期の後ろ倒しや調査内容の変更、場合によっては公示取り消しの可能性があります。</p> <p><有償以外></p>	

コンサルタント等契約(業務実施単独型)(2021年3月31日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、公平性を期するため受付けておりませんことご了承願います。公示後に質問を一定期間お受けし、回答を弊機構Webサイトに掲載いたします。

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) 2020年4月から「コンサルタント等契約」の制度が変わりました。

今後も新しい情報の公開と共に変更が生じる可能性がありますので、JICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認下さい。(https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html)

★	調達管理番号	21a00109000000	調達件名	グアテマラ国プライマリ・ヘルスケアを通じた母子栄養改善プロジェクト基本計画策定調査(母子栄養)		
	公示日(予定)	2021年4月7日	担当部課	人間開発部保健第一グループ	業務種別	業務実施契約(単独型) - 調査団参团
	履行期間(予定)	2021年6月1日 ~ 2021年7月30日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 グアテマラの母子が直面する栄養不良問題の解決のために、JICAがこれまで取り組んできた一次・二次レベルの母子保健・栄養サービスの提供体制強化に加えて、複数のセクターを巻き込みながら、コミュニティに根付いた母子栄養改善のためのプライマリ・ヘルスケア(PHC)サービスの実施体制を構築し、母子栄養に焦点を絞ったPHCサービスの拡充を目指す技術協力プロジェクトの要請がグアテマラ保健省からなされた。</p> <p>【目的】 本基本計画策定調査は、中央及び地方レベルの様々な関係機関から情報収集し、プロジェクトの協力内容を検討することを目的とする。</p> <p>【活動内容】 本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み等を十分把握の上、本調査を実施する他の調査団員等と協議・調整しつつ、グアテマラ国における母子栄養にかかるPHCサービス活動について情報を収集・整理し、課題の抽出、対応策の検討を行うことにより、より効果的な協力枠組みについて先方政府と合意する。</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野】 母子栄養</p> <p>【人月合計】 合計1MM程度(現地0.5MM、国内0.5MM)</p> <p>【現地派遣期間】 2021年6月中旬～下旬頃</p> <p>【渡航回数】 1回</p> <p>【留意事項】 新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ、現地渡航の目途が立たない場合は、渡航の後ろ倒し又は遠隔調査を実施する可能性があります。</p> <p><有償以外></p>	

コンサルタント等契約(業務実施単独型)(2021年3月31日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、公平性を期するため受付けておりませんことご了承願います。公示後に質問を一定期間お受けし、回答を弊機構Webサイトに掲載いたします。

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) 2020年4月から「コンサルタント等契約」の制度が変わりました。

今後も新しい情報の公開と共に変更が生じる可能性がありますので、JICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認下さい。(https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html)

★	調達管理番号	21a00118000000	調達件名	マラウイ国リロングウェ市無収水対策能力強化プロジェクト(水道事業体ナレッジシェアリング/域内連携促進)		
	公示日(予定)	2021年4月7日	担当部課	地球環境部水資源グループ	業務種別	業務実施契約(単独型)ー専門家業務
	履行期間(予定)	2021年5月31日 ~ 2021年10月8日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 マラウイ国の首都リロングウェ市は、人口増加率が全国平均に比べて高く水需要の増加が著しい。その結果、水需要量は水資源量を大きく上回っている。また、配水管の老朽化等により無収水率が高く、水需給バランスがひっ迫している。また、一日当たりの給水時間は、水需要量の増加や無収水率の悪化等の要因により減少傾向にある。 このような背景の下、本事業では、同市南部地域において無収水対策のパイロット活動を実施し、パイロット活動の成果を同市全域、マラウイ国内の他の水公社への普及・展開する取り組みを行っている。また、ケニア、ルワンダで実施されているJICAの無収水対策プロジェクトの実施機関との連携も期待されている。</p> <p>【目的】 リロングウェ水公社(LWB)の無収水対策に係る知見の組織内外への発信・共有能力の向上に係る活動を推進する。また、プロジェクトの円滑な実施に向けた調整及び取りまとめ業務を行う。</p> <p>【活動内容】 本業務従事者は、チーフアドバイザーの総括のもと、リロングウェ水公社(LWB)を主要な関係者とし、成果3(LWBの無収水対策に係る知見の組織内外への発信・共有能力が向上する)の成果発現に向けた活動を推進すると共に、ケニア・ルワンダの水道事業体との協力で行う域内連携にかかる助言・指導を行う。あわせて、チーフアドバイザーのプロジェクト運営や技術指導の補佐、プロジェクトのモニタリングの一環として実施される第5回合同調整委員会(Joint Coordinating Committee: JCC)の開催の準備・支援を行う。</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野】 水道事業体ナレッジシェアリング/域内連携促進</p> <p>【人月合計】 4.0MM(国内:1.00MM、現地3.00MM)</p> <p>【渡航回数】 期間中に現地渡航1-3回を予定</p> <p><有償以外></p>	

コンサルタント等契約(業務実施単独型)(2021年3月31日)

- 注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。
- 注2) プレ公示に関するお問合せは、公平性を期するため受付けておりませんことご了承願います。公示後に質問を一定期間お受けし、回答を弊機構Webサイトに掲載いたします。
- 注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。
- 注4) 2020年4月から「コンサルタント等契約」の制度が変わりました。今後も新しい情報の公開と共に変更が生じる可能性がありますので、JICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認下さい。(https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html)

	調達管理番号	21a00176000000	調達件名	ネパール国交通計画アドバイザー		
	公示日(予定)	2021年4月14日	担当部課	社会基盤部都市・地域開発グループ	業務種別	業務実施契約(単独型)ー専門家業務
	履行期間(予定)	2021年7月5日 ~ 2023年6月30日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】ネパール国においてJICAは2017年に「カトマンズ盆地都市交通改善プロジェクト」を実施し、カトマンズ盆地における都市交通マスタープランを作成した。同計画では都市鉄道整備やフライオーバー建設といった開発事業を提案しているが、実施においてはインフラ交通省に加え、都市開発省、カトマンズ盆地開発公社など複数の機関が相互連携・調整を図ることで、都市計画と都市交通の整合性を確保する必要がある。現在ネパール政府はカトマンズ盆地における都市交通政策の策定や効率的な交通ネットワークの運営管理体制の構築等を目的とした委員会(UPTA)の設立を計画しており、今後はUPTAを中心とした都市計画・都市交通の調整を図るプラットフォームの構築が求められる。</p> <p>【目的】UPTAを通じたカトマンズ盆地における都市交通行政に係る政策立案・計画実施・調整体制を構築し、都市計画に対応した都市交通ネットワーク整備事業を推進する。</p> <p>【活動内容】</p> <p>1) 都市計画及び都市交通に係る各種機関の組織体制、業務所掌、意思決定メカニズム等の情報収集、調整方法の提案及び調整支援</p> <p>2) 都市交通ネットワーク整備事業の実施に向けた課題分析、開発ニーズの特定、必要な助言及び提言</p>			留 意 事 項	<p>【担当分野】 都市交通</p> <p>【人月合計】 約15MM(現地14MM、国内1MM)</p> <p>※3回程度の現地渡航を想定。1回あたりの現地滞在日数は4か月程度。</p> <p>【留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務開始時当初(2021年7月～)は国内業務にて対応し、9月以降に現地業務を開始することを想定しています。現地渡航が制限される場合は、部分的に国内業務に代替となる可能性があります。 ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 <p><有償以外></p>	

コンサルタント等契約(業務実施単独型)(2021年3月31日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、公平性を期するため受付けておりませんことご了承願います。公示後に質問を一定期間お受けし、回答を弊機構Webサイトに掲載いたします。

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) 2020年4月から「コンサルタント等契約」の制度が変わりました。

今後も新しい情報の公開と共に変更が生じる可能性がありますので、JICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認下さい。(https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html)

	調達管理番号	20a01301000000	調達件名	マダガスカル国コメセクター生産性向上及び産業化促進支援プロジェクト		
	公示日(予定)	2021年4月14日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第二グループ	業務種別	業務実施契約(単独型) - 調査団参团
	履行期間(予定)	2021年6月3日 ~ 2021年8月20日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】マダガスカルにおいてコメは主食であり、最も重要な作物である。稲作は全耕地面積の約4割を占め、コメの総生産量は年間403万トン、消費量は年間一人当たり約98kgでアフリカ随一である。JICAは、生産性向上に係る技術普及を図る「コメ生産向上・流域管理プロジェクトフェーズ2(PAPRiz2)」を実施。また、全国を対象に技術普及を目指す後継の「コメセクター生産性向上及び産業化促進支援プロジェクト」が始動している。</p> <p>【目的】2020年11月に終了したPAPRiz2の活動実績、成果を確認し提言にまとめる。また、今後の協力事業の実施にあたっての教訓を導くことを目的とする。</p> <p>【活動内容】プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性)を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。また、プロジェクト全体を評価し、今期プロジェクトにおける成果および残されている課題を確認し、後継案件に向けての提言をまとめる。</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野】評価分析 【人月合計】1.20MM (現地0.70MM 国内0.50MM) 【現地派遣期間】2021年6月下旬~7月上旬を予定 【渡航回数】1回 【特記事項】新型コロナウイルスの流行その他の状況を踏まえ、現地渡航が不可となった場合は、現地人材を活用する等の代替案を検討し、遠隔での調査実施に変更する可能性がある。</p> <p><有償以外></p>	

コンサルタント等契約(業務実施単独型)(2021年3月31日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、公平性を期するため受付けておりませんことご了承願います。公示後に質問を一定期間お受けし、回答を弊機構Webサイトに掲載いたします。

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) 2020年4月から「コンサルタント等契約」の制度が変わりました。

今後も新しい情報の公開と共に変更が生じる可能性がありますので、JICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認下さい。(https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html)

	調達管理番号	21a00164000000	調達件名	マダガスカル国コメセクター生産性向上及び産業化促進支援プロジェクト関連評価(評価分析)		
	公示日(予定)	2021年4月14日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第二グループ	業務種別	業務実施契約(単独型) - 調査団参团
	履行期間(予定)	2021年6月3日 ~ 2021年8月20日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】マダガスカルにおいてコメは主食であり、最も重要な作物である。稲作は全耕地面積の約4割を占め、コメの総生産量は年間403万トン、消費量は年間一人当たり約98kgでアフリカ随一である。JICAは、生産性向上に係る技術普及を図る「コメ生産向上・流域管理プロジェクトフェーズ2(PAPRiz2)」を実施。また、全国を対象に技術普及を目指す後継の「コメセクター生産性向上及び産業化促進支援プロジェクト」が始動している。</p> <p>【目的】2020年11月に終了したPAPRiz2の活動実績、成果を確認し提言にまとめる。また、今後の協力事業の実施にあたっての教訓を導くことを目的とする。</p> <p>【活動内容】プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性)を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。また、プロジェクト全体を評価し、今期プロジェクトにおける成果および残されている課題を確認し、後継案件に向けての提言をまとめる。</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野】評価分析 【人月合計】1.20MM (現地0.70MM 国内0.50MM) 【現地派遣期間】2021年6月下旬~7月上旬を予定 【渡航回数】1回 【特記事項】本件は、終了時評価調査を延期としているPAPRiz2に対して、現地調査を前提として実施するもの。ただし、新型コロナウイルスの流行その他の状況を踏まえ、現地渡航が不可となった場合は、現地人材を活用する等の代替案を検討し、遠隔での調査実施に変更する可能性がある。</p> <p><有償以外></p>	

コンサルタント等契約(業務実施単独型)(2021年3月31日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、公平性を期するため受付けておりませんことご了承願います。公示後に質問を一定期間お受けし、回答を弊機構Webサイトに掲載いたします。

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) 2020年4月から「コンサルタント等契約」の制度が変わりました。

今後も新しい情報の公開と共に変更が生じる可能性がありますので、JICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認下さい。(https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html)

	調達管理番号	21a00134000000	調達件名	ウガンダ国コメ振興プロジェクト フェーズ2 (発現形質による稲系統選抜)		
	公示日(予定)	2021年4月21日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第二グループ	業務種別	業務実施契約(単独型) - 専門家業務
	履行期間(予定)	2021年7月1日 ~ 2022年3月4日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 本専門家は、ウガンダにおいて適正稲作技術の研究・開発能力の向上及び研修・普及の制度枠組みの強化に取り組んでいる「コメ振興プロジェクト フェーズ2」に派遣されるもの。同プロジェクトは、将来的には新品種の登録・普及を目指しており、そのためには、病害抵抗性品種及び病害抵抗性かつ良食味品種の開発に向けた研究の支援が必要である。</p> <p>【目的】 本業務従事者は、ウガンダ国立作物資源研究所(NaCRRI: National Crops Resources Research Institute)において、実用形質によるイエロー・モットル・ウイルス(RYMV: Rice Yellow Mottle Virus) 抵抗性育成系統選定と選抜系統維持の研究指導を目的に派遣される。</p> <p>【活動内容】 実用形質による育成系統の選抜についてNaCRRIやZARDIの研究者に対して実地に指導を行う他、次世代の育成方針や技術的課題について助言をする。</p>			留 意 事 項	<p>【合計人日】 2.40MM (現地: 2.00MM、国内0.40MM)</p> <p>【渡航回数】 2回 (7月及び1月で、各30日間を想定)</p> <p><有償以外></p>	

コンサルタント等契約(業務実施単独型)(2021年3月31日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、公平性を期するため受付けておりませんことご了承願います。公示後に質問を一定期間お受けし、回答を弊機構Webサイトに掲載いたします。

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) 2020年4月から「コンサルタント等契約」の制度が変わりました。

今後も新しい情報の公開と共に変更が生じる可能性がありますので、JICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認下さい。(https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html)

	調達管理番号	21a00135000000	調達件名	ウガンダ国コメ振興プロジェクト フェーズ2 (植物病理・PCR検定)		
	公示日(予定)	2021年4月21日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第二グループ	業務種別	業務実施契約(単独型) - 専門家業務
	履行期間(予定)	2021年7月1日 ~ 2022年3月4日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 本専門家は、ウガンダにおいて適正稲作技術の研究・開発能力の向上及び研修・普及の制度枠組みの強化に取り組んでいる「コメ振興プロジェクト フェーズ2」に派遣されるもの。同プロジェクトは、将来的には新品種の登録・普及を目指しており、そのためには、病害抵抗性品種及び病害抵抗性かつ良食味品種の開発に向けた研究の支援が必要である。</p> <p>【目的】 本業務従事者は、ウガンダ国立作物資源研究所(NaCRRI: National Crops Resources Research Institute)において、DNA分析技術を用いたイエロー・モットル・ウイルス(RYMV: Rice Yellow Mottle Virus) 抵抗性遺伝子(Rymv1-2) 個体の選抜手法を改良し、RYMV抵抗性品種育成ならびに系統選抜の技術確立を指導する目的で派遣される。</p> <p>【活動内容】 DNA分析による育成系統の選抜についてNaCRRIやZARDIの研究者に対して実地に指導を行う他、技術的課題について助言をする。</p>			留 意 事 項	<p>【合計人日】 2.40MM (現地: 2.00MM、国内0.80MM)</p> <p>【渡航回数】 1回 (12月上旬~2月上旬を想定)</p> <p>※7月~9月の間の約2週間、本邦の大学において事前国内業務を想定しています。</p> <p><有償以外></p>	